

# 第 15 回 通常社員総会

## 議 案 書

月 日 平成 28 年 5 月 25 日 (水)

場 所 札幌市民ホール

時 間 13 時 30 分 ~



NPO 法人 シーズネット

## 平成27年度事業報告書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

### I. 事業活動環境の改善

#### 1. 認定NPO法人として賛同者を増やす活動

シーズネットの財政基盤を改善するとともに、寄付金等をより多く集める活動を通して、シーズネットの活動の意義を広く世間に知ってもらう事を目的に活動してきましたが、平成27年度の寄付受付額は、424,873円にとどまりました。

その主な要因は、認定NPO法人としての特性を活かした具体的な呼びかけ行動を積極的に行うことができなかったことと、中心的に活動する人材の育成ができなかったことによるものと考えております。

### II. 仲間づくりの推進

#### 1. 会員数の維持とサークル活動の活性化

##### (1) 会員数の状況

会員の確保に向けて、関係団体を通じてのシーズネット通信の配布、ホームページのリニューアル、各種講演会・セミナーへの参加呼びかけ、シーズネット祭りの市民公開等を通して会員参加を努力した結果、155名の新規加入がありましたが、退会者が164名発生し、会員数は対前年度比、9名の減となりましたが、952名と900名台を維持することができました。【資料-1参照】

##### (2) サークル活動の活性化

###### ① サークル・グループ活動の状況

会員各位の努力もあり、毎年度延1万人を超える参加者が活動しており、今年度は、陽だまりの会とミズクラブが新規に立ち上がりましたが、廃止したサークルもあり年度末活動数は、前年度末と同数の34サークルとなりました。【資料-2参照】

###### ② 推進会議の開催

毎月第二木曜日の10時30分～12時00分に定例的に、各サークル・グループの代表及び事務局スタッフが参加して推進会議を計12回開催しました。

役員は、幹事長1名、副幹事長2名、書記1名の4人で構成しており、今年度の幹事は、カーリンコン、楽しいシングルライフ、英会話レッスン、マーゼジャンクラブの4サークルの代表に4月から3月の1年間務めていただき、サークル・グループ間の交流・調整など、活動の活性化に向けて取り組みました。

#### 2. 支部活動への支援と活性化

##### (1) 支部活動への支援

支部代表者と運営会議メンバーとで支部代表者会議を開催し、活動を活性化するために取り組んでいることや悩んでいること等の意見交換をして今後の支部のあり方などについて懇談しました。

第1回 平成27年8月24日（月）シーズネット研修室

（出席：本部8名、旭川1名、空知1名、函館3名）

第2回 平成28年3月15日（火）シーズネット研修室

（出席：本部6名、旭川2名、函館2名）

## (2) 支部活動の状況

### ① 旭川支部

毎月定例役員会を開き、当月の行事スケジュールを決めて、サークル活動、会員相互の親睦とコミュニケーションを図る交流会のほか、健康増進を目的としたスポーツ例会や知識や経験を高める研修・学習会の取り込みを行いました。**【資料-3 参照】**

### ② 空知支部

支部活動の拠点の廃止に伴い活動を休止しました。

### ③ 函館支部

上新川町会館を活動の拠点として使用させていただきながら、主に毎月第2水曜日に定例役員会を開催して、前月の活動報告、翌月の活動計画や行事スケジュールを決めて、月例会で報告するとともに隔月発行する支部通信で会員に周知を図り、サークル活動、会員交流を中心に活動しています。

また、地域に対する貢献として地域清掃活動、赤い羽根街頭募金活動のほか、他団体とも積極的に連携するなど、市民に向けての活動にも取り組みました。**【資料-4 参照】**

## 3. 研修会・勉強会の開催

会員の見識を高め、新規会員獲得にもつなげることを目的に、平成15年から始まった「シニアのための知恵袋講座」は毎月木曜日に開催し、年間12回、248人の参加があり、会員外の参加も30名ありました。

今年度は、人生の後半を豊かに過ごすためのテーマを内容にした講義を中心にするとともに、講座の開催案内が新聞記事に掲載されたこともあり、会員外の参加が増加しました。

## 4. 会員交流活動の推進

全会員を対象にした交流の場として、毎年恒例の「シーズネット祭り」「新春交礼会」を開催するとともに、サークル間での合同交流を開催しました。サークル・グループ活動主宰者が自発的に役割を担い、サークル間の密接なつながりをもって会員相互の支え合いの関係を醸成する交流を実施できました。

(1) シーズネット祭り

日 時 平成27年9月28日(月)10時10分～15時40分

場 所 札幌エルプラザ3階大ホール；メイン会場他

参加者 208名 内訳 会員186名 市民22名

祭りは、千秋幹事長の開会宣言に続き、奥田理事長の挨拶からスタートし、メイン会場では、スクリーンによるシーズネット事務局活動等の紹介のほか、6サークルによる活動状況発表がありました。その他の会場では、パネル展示や写真展示によりサークル紹介を行い、最後にシーズネット合唱団のリードで全員がシーズネット賛歌を合唱し、杉谷副理事長の閉会宣言で全ての行事を終了しました。

(2) 新春交礼会

日 時 平成28年1月29日(金)16時00分～18時00分

場 所 KKRホテル札幌 3階 鳳凰の間

参加者 60名

奥田理事長の挨拶と乾杯から交礼会がスタートし、豪華にも「JIVE」と「K&TOYS」の2バンドの生演奏と舞踊3曲に引き続きビンゴゲームで会場を盛り上げ、最後に出席者全員でシーズネット賛歌を大合唱して盛会裏に宴を終えました。

(3) 合同開催による交流会

●豊友会・旅行クラブ共同企画

～旭川を楽しもう～

日 時 平成27年5月7日(木)

場 所 旭川・旭山動物園～三浦綾子記念館他

参加者 38名

(4) 高齢者福祉バスの活用

札幌市社会福祉協議会地域福祉課が提供する高齢者福祉バス制度を活用し、サークル活動等のバリエーションや体験エリアを広げ、活動の活性化を図るため積極的に活用を図りました。

今年度は2台を活用しました。

①平成27年5月7日(木) 利用者：豊友会・旅行クラブ共催

行 事：旭川でのお花見会、文学記念館見学会

②平成27年7月14日(火) 利用者：シーズネット合唱団

行 事：支笏湖での会食、交流

### Ⅲ. 居場所づくりの展開

地域に住む会員の交流の場として、また、広く市民が集える場を提供する活動としてサロンの開設及び開設・運営の支援を行いました。

### (1) 地域交流サロン活動

#### ① サロン「このはな」

新木の花団地(豊平区)内の第二集会場での活動は4年目となりました。

開設日は土、日、祝日を除く平日の10時～16時の時間帯に支援者が毎日常駐して活動し、年間の利用者数は1,700余名です。

地域での地名度は徐々に上がり、利用者の65%が豊平区となりましたが、団地内の利用が32名減となったのは残念です。

今年度の利用者は延べ1,757名と昨年に比べ29名増えたものの、運動系カリキュラム(カーリンコン、ふまねっと運動、グランド・ゴルフ)の参加が増え、室内系カリキュラム(パッチワーク、絵手紙、お昼を一緒に、講演、等)が、利用者の高齢化なのか、減少しています。

	稼働日数	延べ利用人数	一日当たり	UR利用者	運動系利用
27年度	242	1,757	7.2	188	410
26年度	241	1,728	7.1	200	253

#### ② シネマサロン「なないろ」

シーズネットの活動目的4本柱の一つに「居場所づくり」があります。

この具体的な活動の一つとして、厚別区のもみじ台管理センター(もみじ台北7丁目)において、男性高齢者が気軽に参加しやすい「交流の場(サロン)」として、「シネマサロン なないろ」があります。

このサロンは、平成26年12月から始まり、昔懐かしいシネマ(洋画)を、月1回、参加料300円、日本語吹き替えで上映しています。シネマ上映後は、同会場で1時間程度、お茶・お菓子を食べながら、元映画関係者によるエピソード解説を聴いて交流し、皆で映画の余韻を楽しんでいます。

単にシネマを観るサロンではなく、シネマを終了後の「交流の場(サロン)」への参加にむすびつける、キッカケづくりとしたのが特徴です。

●サロン開設12回 参加者630名 上映映画:「哀愁」等

### (2) 札幌市シニアサロンモデル事業立上げ支援

札幌市が高齢者地域貢献支援事業として推進している「札幌市はつらつシニアサポート事業」を活用して、シニアサロンや高齢者団体による、チャレンジ事業の立ち上げを計画している、シニア団体の申請業務及び事業活動報告等の作成の指導及び支援を行うことを、札幌市と協定しています。

前年度以前には、立上げに対する指導や申請書作成まで支援したところが数件

ありますが、前年度も今年度も、特に支援実績はありませんでした。

### (3) もみじ台管理センター有効活用支援

日興美装工業株式会社が札幌市から受託している市営もみじ台団地管理センターの有効活用事業と連携し、スタッフとして運営に関わるとともに、厚別区もみじ台地区住民の高齢者の見守りや支え合い活動を推進しています。

#### ① もみじ台管理センター有効活用支援

担当者2名を雇用し、受付業務、図書館業務等を支援しています。

#### ② もみじ台地区支え合い活動

もみじ台地区住民の交流活動として、もみ人ふれあい祭り、シネマサロンなないろ、もみじ台写真サークル支援等の活動をしています。

#### ③ なないろテントの活用促進

「なないろテント」は、モデル地区厚別区第二もみじ台自治会と連携して、同地区を中心にテントの活用をスタートしましたが、今年度は新川町内会、子供児童会館、もみじ台管理センターへも拡大して活用され、地域の活性化活動に貢献しております。

## IV. 役割づくり事業の展開

### 1. 受託事業

#### (1) サービス付高齢者向け住宅登録事業(北海道、札幌市)

平成23年10月からスタートした、サービス付き高齢者向け住宅登録制度は、北海道所管分と札幌市所管分を受託し4年目が過ぎましたが、27年度末登録数は北海道所管分が147件4,895戸、札幌市所管分が179件8,648戸となっています。

この登録規模は、都道府県別では北海道は大阪府に次いで2位の位置にあり、市町村別では札幌市が第1位の位置にあります。要因は定かではありませんが、北海道経済の低迷や道民の家族意識等が起因しているとも考えられます。

登録業務は、北海道分、札幌市分としてそれぞれ1名の職員を雇用してすすめており、年度を経るごとに新規登録は少なくなってきましたが、登録済み分の増加により、変更登録件数が増加傾向にあり、業務量としては増えつつあります。

#### (2) 中国・樺太等帰国者支援事業(北海道社会福祉協議会の委託)

厚別区もみじ台には、1980年代以降、多くの中国帰国者が住み、今では約400人以上の帰国者とその家族がおります。

このうち特に、約80人の一世、二世の方の中には、地域で生活を送る上で言葉が通じないとか、慣れ親しんだ生活習慣の違い、そして帰国者自身の高齢化で、医療・介護など様々な問題を抱えております。

このためシーズネットでは、帰国者が地域で孤立しないように、帰国者を主

たる対象とした「介護予防のためのわくわく運動&茶サロン」を、平成27年度7月から月1回もみじ台管理センターで開催して、民生委員や町内会役員などとの相互理解と交流に結び付く「場づくり」を行っています。

・平成27年度 9回開催 参加延人数 175人

## 2. 自主事業

### (1) 北海道孤立防止ネットワーク事業

超高齢社会において地域での孤立化を防ぐために①相談窓口②講演・シンポジウムなどの啓蒙普及を図り、また地域連携ネットワークづくりの実現に向けて活動しております。

《シンポジウム・イベント開催》

#### ① 住まいの情報セミナー

日時：平成27年10月5日(月)13:30～16:00

場所：札幌市民ホール2F会議室

参加者：92名

テーマ：「終活だけで大丈夫？」

#### ② 創活フェア 2015in チカホ

日時：平成27年10月17日(土)10:00～15:00

場所：札幌駅前地下歩行空間

参加者：約300名

テーマ：「幸せな人生の旅路を考える」

#### ③ 団地サミット

日時：平成27年12月5日(月)13:00～16:00

場所：札幌エルプラザ3F大ホール

参加者：225名

テーマ：「無縁社会から有縁社会へ」

#### ④ 住まいの情報セミナー

日時：平成28年3月5日(月)13:00～15:00

場所：札幌市社会福祉総合センター4F

参加者：91名

テーマ：「人生の二幕目の今を考える」

### (2) 話し合いたい(傾聴)サポーター派遣事業

今年度から、高齢者向け住宅などに傾聴ボランティアを派遣する事業を自主事業としておこないました。

目的は孤独・孤立になりがちな状況を傾聴というアプローチで緩和するというものです。

・サポーター派遣：4件/延18回

(3) 認知機能低下予防講座（脳活塾）

認知機能の機能低下予防を目的とした学校形式の塾を開講しました。

様々な学習療法や運動療法・音楽療法等により、認知機能の低下予防を目指し、定期的な効果測定を行うことで、「やる気」と「自主性」を養っています。

また、脳の活性化はもとより、「友達作り」「生活意欲の活性化」「孤独感の解消」にも役立っています。

・登録人数：一学期（1～3月）35名

3. 市民ボランティアへの積極的な参加

(1) 札幌市大通花壇ボランティア

シーズネット10周年を記念してスタートした大通り公園花壇ボランティア活動は7年目を迎え、大通公園西3丁目にあるボーダー花壇について、4月～10月までの毎週木曜日、苗植え、花草取り、等を参加者37名を4班に分け実施し、市民や観光客から喜ばれました。

(2) 森林再生団体型森林づくり事業

平成17年の台風被害で大量に発生した、野幌原生林風倒木再生事業に平成18年から参加し、担当する0.2ヘクタールのシーズネットの森で毎年下草刈り、ツルきり、育成管理を20名で実施しています。

また、札幌市水源の森での植樹や、森林講演会の開催など森林の環境を体感しました。

(3) 除雪ボランティア

福祉除雪ボランティアを募集しましたが、今年度は前年度に引き続き、一人の参加者もなく、活動を行うことができませんでした。これはシーズネットの会員が年々高齢化していることが起因しているものと考えられます。

V. 地域協働への取り組み

1. 町内会との協働

鉄西地区町内会と平岸地区町内会に加入し、地域活動に積極的に協力しています。特に鉄西連合町内会が中心となって、住みよい地域づくりを図るため、本法人をはじめとする約30の各種団体が参加する「鉄西コミュニティネットワーク会議」に参加し啓発活動などの連携・協力を努めています。

2. イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン

全国のイオングループが展開している「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」の札幌苗穂店に団体登録し、会員の皆様に毎月11日のイオンデーに黄色いレシートをシーズネットの指定ボックスに、投函していただくようお願いするとともに、事務局員がイオン苗穂店に出向き、買い物客に黄色いレシートの投函を呼びか

けた結果、33,600円のギフトカードを受けることができました。

## VI. 事務局主体活動

### 1. 新入会員オリエンテーション

新入会員オリエンテーションを毎四半期ごとに(4月24日、7月31日、10月30日、1月19日)開催し、30名の参加がありました。新入会員のシーズネットへの入会動機等を発表していただき、シーズネットの事務局の役割、サークル活動の現状、シーズネット通信の読み方などについて説明した後、シーズネット活動への参加を呼びかけました。

### 2. シーズネット通信の発行

今年度のシーズネット通信は、毎月、通巻163号から通巻174号までを発行し、会員宛てに送付するほか、札幌エルプラザ、札幌市生涯学習センター(チェリア)、道立市民活動センター、イオン発寒店の広報スタンドへ掲出していただくとともに、町内会、各種福祉団体、行政の出先機関、各マスコミ等へ配布しています。

記事内容は、奥田理事長の巻頭言、各事業の開催案内、サークル・グループの活動計画等を掲載していますが、今年度は紙面の構成をリニューアルして、シーズネットの取り組み方針等をわかりやすく解説する等、会員の理解を深めるとともに情報交換の場として活用していただくことも盛り込みました。

### 3. ホームページの作成

平成16年6月に開設したホームページを平成26年9月に全面的にリニューアルして、より見やすくするとともに、認定NPO法人に求められる、事業活動状況や決算状況等を広く市民への開示する内容を網羅し継続的に運用しています。

### 4. 各種会議の開催

#### (1) 平成27年通常総会の開催

日 時 平成27年5月27日(火) 12時30分～15時30分  
場 所 札幌市民ホール 第1及び第2会議室  
出席者 494名(出席者70名 委任状424名)

#### (2) 理事会の開催

第40回	平成27年5月7日	於シーズネット研修室
第41回	平成27年5月31日	於シーズネット研修室
第42回	平成27年8月20日	於鉄西まちづくりセンター会議室
第43回	平成27年12月5日	於シーズネット研修室
第44回	平成28年2月27日	於シーズネット研修室

主な議題は、通常総会に上程する議案書の議決、中間決算期における活動計画の進捗状況・活動決算の確認、新年度活動計画・予算、定款変更・各種規則

の改定についての審議等を行いました。特に今年度は、15編の規定規則類の改定に精力的に取り組みました。

(3) 運営会議

運営会議は、業務理事及び事業担当責任者の9名が定例メンバーとして、会員活動の問題解決、各種事業の進捗確認等の当法人活動の円滑な推進を期することを目的に、毎月1回、計12回開催しました。

なお、今年度5月から、シーズネット通信に掲載せて、運営会議での協議内容の概要を毎月報告することを実施しております。

(4) スタッフ会議

事務局員全員参加の会議で運営会議の取り決め事項の報告、事務局主導の各種行事の徹底と連絡事項の周知徹底を図るため月1回、計12回開催しました。

5. 事務局体制の整備

(1) 文書管理等規定の整備

理事会の精力的な取り組みにより、定款をはじめ、15編の規定、規則を見直し改定整備するとともに、いつでも閲覧できる体制を確立しました。

(2) 常勤職員の雇用

財政基盤を確立する基幹となる収益事業を見出すことができず、常勤職員の雇用環境を創りだすことができませんでした。

## 1. 会員の組織状況(平成28年3月31日)

## (1) 会員数

区 分		平成27年度末	平成26年度末	新規加入	脱 会
会 員 総 数		952名	961名	155名	164名
正会員	個人	923名	927名	153名	157名
	団体	22団体	26団体	2団体	6団体
賛助会員	個人	7名	8名	0名	1名
	団体	0名	0名	0名	0名

## (2) 男女別会員数及び平均年齢

区 分	平成27年度末	平成26年度末	新規加入	脱 会
男 性	300名	292名	53名	45名
女 性	623名	635名	100名	112名
平均年齢	73.6歳	72.9歳	—	—

## (3) 地域別会員数

区 分	平成27年度末	平成26年度末	新規加入	脱 会
札 幌	790名	797名	118名	125名
旭 川	52名	39名	21名	8名
空 知	8名	19名	1名	12名
函 館	62名	59名	11名	8名
その他地区	11名	13名	2名	4名

## 2. 役員名簿

役 職	氏 名	住 所
理 事 長	奥 田 龍 人	
統括副理事長	千 秋 憲 博	
副理事長	杉 谷 憲 昭	
事務局長	山 根 勝 利	
理 事	鐵 川 幹 夫	
理 事	青 木 基 成	
理 事	小 野 忍	
理 事	國 本 正 雄	
理 事	大 島 康 雄	
理 事	神 内 秀 之 介	
理 事	北 村 美 恵 子	
監 事	猿 渡 照 夫	
監 事	篠 塚 正 徳	

## サークル・グループ活動集計表

No	サークル名	合 計			
		27年度		26年度	
		延回数	延人数	延回数	延人数
1	歩こう会	15	213	18	367
2	囲碁を楽しむ会	46	246	45	198
3	映画を観る会	12	138	10	105
4	絵手紙教室	12	51	7	39
5	男の料理教室	12	206	12	170
6	お抹茶を楽しむ会	12	85	3	23
7	歌謡サークル	12	350	11	302
8	歌謡体操	22	136	2	15
9	ゴルフを楽しむ会	9	141	8	119
10	酒と語り場	13	213	21	290
11	札幌のつどい	9	77	1	24
12	サロン「森の声」	7	57	10	117
13	シーズネット合唱団	26	1,323	24	1,101
14	詩吟サークル	35	39	34	126
15	自然と健康を考える会	25	518	26	597
16	実用ふでの会	46	405	48	327
17	シニアの英会話	34	218	20	39
18	初心者麻雀を楽しむ会	47	1,628	47	1,298
19	楽しいお花	11	50	11	41
20	楽しいシニア人生	10	143	10	147
21	たべものクラブ	12	296	12	322
22	短歌勉強会	12	78	11	76
23	ハーモニカ・オカリナ教室	22	287	21	340
24	パソコンの基礎と活用の会	12	65	12	46
25	陽だまりの会	11	214		
26	百聞会	12	256	11	209
27	豊友会	17	287	17	236
28	マージャンクラブ	41	1,323	40	1,436
29	麻雀入門	48	1,984	48	1,571
30	ミズクラブ	11	187		
31	旅行クラブ	7	70	5	60
32	サークル合同	1	38	5	154
33	喫茶「カラオケ」	3	24	5	60
34	夫婦のつどい	5	53	6	76
35	ふまねっと運動	24	92	42	275
36	手話サークル	2	4		
37	歌声サロン			2	4
38	カーリンコン			11	106
39	山遊会			26	288
40	土曜のおしゃべり			1	12
	合 計	655	11,495	643	10,716

## 旭川支部活動状況

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	実施回数	参加人員
支部総会	支部活動について討議	4月6日	ときわ市民ホール	1回	14名
支部役員会	定期的に支部活動方針検討	4～3月	ときわ市民ホール他	12回	延87名
サークル活動	健康麻雀教室・サロン	4～3月	旭川勤労福祉会館	51回	延788名
交流会活動	ランチ・カラオケ会	4～3月	モンテローザ他	10回	延81名
〃	お花見会	6月16日	東神楽;森の湯	1回	13名
〃	そば打ち	7月16日	当麻岡本山荘	1回	8名
〃	酒と語り場	9～3月	居酒屋まるこ他	4回	延26名
〃	嵐山散策	9月24日	陶芸の里	1回	9名
〃	シーズネットサロン	1月18日	ときわ市民ホール	1回	16名
〃	シーズネット活動意見交換会	2月19日	ときわ市民ホール	1回	9名
スポーツ例会	太極拳教室	4～2月	サン・アザレア他	3回	延29名
〃	ふまねっと	5/22・1/22	ときわ市民ホール	2回	延33名
〃	パークゴルフ	7/9・9/3	永山パークゴルフ場	2回	延14名
〃	カーリンコン	11月6日	ときわ市民ホール	1回	11名
研修・学習会	道新「いずみ」欄鑑賞会	5/15・12/11	ときわ市民ホール	2回	延16名
〃	レコード鑑賞会	6/7・10/18	ときわ市民ホール	2回	延17名
〃	ヴリザードフラワー講習会	8月4日	ときわ市民ホール	1回	9名
〃	男女料理教室	11月27日	ときわ市民ホール	1回	13名
〃	相続と遺言学習会	2月2日	ときわ市民ホール	1回	14名
〃	映画鑑賞	3月4日	イオンシネマ旭川駅前	1回	8名
本部行事参加	支部代表者会議	7月・3月	札幌エルプラザ他	2回	3名

## 函館支部活動状況

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	実施回数	参加人員
第12回支部定期総会	H26事業報告・H27事業計画	5月18日	上新川町会館	1回	委任状込61名
月例会	前月の活動報告と翌月の計画	第3日曜日	上新川町会館	11回	延266名
役員会	活動計画の検討	第2水曜日	上新川町会館	13回	延102名
支部通信の発行	編集委員会	偶数月	上新川町会館	7回	延21名
〃	通信発行(第69号～第74号)	奇数月	編集委員宅	6回	全員へ配布
本部行事参加	本部通常総会	5月27日	札幌市民ホール	1回	1名
〃	支部代表者会議	8月・3月	シーズネット研修室	2回	延5名
避難訓練	会館からの避難訓練	6月14日	上新川町会館	1回	34名
社会貢献活動	地域清掃活動	9月25日	上新川町川沿い	1回	31名
〃	赤い羽根街頭募金活動	10月10日	函館駅前	1回	17名
〃	野菜バザー開催(上新川町住民向け)	7月10日	上新川町会館	1回	12名
他団体行事参加	ボランティア連絡協議会「定期総会」	5月31日	ボランティアセンター	1回	2名
〃	第11回NPO祭り	7月26日	地域交流まちづくりセンター	1回	9名
〃	ボランティア連絡協議会「新年会」	2月11日	ベル・クラシック	1回	3名
研修会・講座	シニアライフを考える会	4～3月	上新川町会館	8回	65名
〃	高齢者の福祉制度講座	7月19日	上新川町会館	1回	24名
〃	健康づくり健康増進講座	9月20日	上新川町会館	1回	20名
〃	札幌酒精厚沢部工場見学	10月15日	(昼食;蛾虫温泉)	1回	23名
〃	みんなで創る地域ケアシステム講座	11月15日	上新川町会館	1回	24名
〃	マージャン教室	4～3月	上新川町会館	12回	延87名
〃	個人住宅の耐震診断と補強方法講座	2月20日	上新川町会館	1回	19名
サークル活動	パークゴルフサークル	4～10月	近郊パークゴルフ場	13回	延95名
〃	マージャンクラブ	毎週金曜日	上新川町会館	54回	延1,889名
〃	日曜マージャン	毎週日曜日	上新川町会館	39回	延745名
〃	マージャン(金・日以外)	4月～3月	上新川町会館	18回	196名
〃	カラオケ愛好会	4～3月	まねきねこ店	9回	延71名
〃	話食(ランチ)の会	4～3月	市内飲食店	9回	延110名
〃	ふまねっと・カーリンコンの会	4～3月	上新川町会館	14回	延90名
交流会	観桜会(ノンアルコールで昼食)	5月1日	五稜郭公園	1回	29名
〃	マージャン大会	5・9・10・3月	上新川町会館	4回	延157名
〃	パークゴルフ交流会	7月・10月	陣川旧コース	2回	延27名
〃	納涼パーティー	7月21日	スナック「ピリカ」	1回	14名
〃	ボージョレーのタベ	11月19日	スナック「ピリカ」	1回	7名
〃	忘年会	12月15日	まねきねこ中道店	1回	8名
〃	新年会	1月17日	ホテル法華クラブ	1回	48名
〃	初心者向けマージャン講習会	4～3月	上新川町会館	11回	延39名
〃	ボージョレーのタベ	11月20日	スナック「ピリカ」	1回	7名
〃	鏡開き&マージャン	1月11日	上新川町会館	1回	41名

## Ⅱ. 平成27年度決算報告

(議案2-1)

### 貸借対照表

(平成28年03月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金			3,961,718
未収金			1,682,440
立替金			404,287
仮払金			189,678
流動資産合計		6,238,123	
2. 固定資産			
什器備品			458,789
電話加入権			15,000
出資金			30,000
固定資産合計		503,789	
資産合計	6,741,912		
<b>Ⅱ 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金			1,013,146
前受金			0
預り金			7,000
源泉税預り金			38,921
流動負債合計		1,059,067	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計	1,059,067		
<b>Ⅲ 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		6,885,615	
当期正味財産増減額		-1,202,770	
正味財産合計	5,682,845		
負債及び正味財産合計	6,741,912		

## II. 平成27年度決算報告

(議案2-2)

### 財 産 目 録

(平成28年03月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金預金	3,961,718	
自主運営事業手持ち現金		1,400,001
助成受注事業手持ち現金		28,472
北海道銀行札幌駅前支店		1,994,985
ゆうちょ銀行		538,260
未収金	1,682,440	
北海道森と緑の会		100,000
北海道ケアマネジメントサポートリンク		52,704
北海道建築指導課(サ付道)		240,000
札幌市(サ付札)		999,000
日興美装工業㈱		290,736
立替金	404,287	
日興美装工業㈱他		404,287
仮払金	189,678	
サークル傷害等保険料(28年度分)		51,620
駐車場料(28年度分)		100,000
雇用労災保険料		38,058
流動資産合計	6,238,123	
2. 固定資産		
什器備品		458,789
電話加入権		15,000
出資金		30,000
固定資産合計	503,789	
資産合計	6,741,912	
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
未払金	1,013,146	
サークル傷害等保険料(26年度分)		165,680
3月分給与等 4/15払		702,212
各種費用の未払額		145,254
預り金	7,000	
預かり住民税1名分		7,000
源泉税預り金	38,921	
流動負債合計	1,059,067	
負債合計	1,059,067	
<b>II 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産	6,885,615	
当期正味財産増減額	-1,202,770	
正味財産合計	5,682,845	

## II. 平成27年度決算報告

(議案2-3)

### 活動計算書

(平成27年04月01日から平成28年03月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 会員会費収入		2,930,000
2. 活動参加収入		2,591,300
3. 寄付金収入		424,873
4. 助成事業収入		100,000
5. 自主受注収入		13,329,694
6. 雑収入		2,663,487
経常収益計	22,039,354	
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費	14,783,024	
(1) 人件費		6,790,511
人件費計		6,790,511
(2) その他経費		7,992,513
厚生費		898,978
旅費交通費		874,169
諸謝金		1,228,248
賃借料(家賃を含む)		1,005,722
通信費		415,088
印刷費		58,604
消耗品費		524,684
水道光熱費		231,849
租税公課		587,500
委託費		1,158,088
その他の経費		1,009,583
2. 管理費	8,459,100	
(1) 人件費		0
人件費計		0
(2) その他経費		8,459,100
旅費交通費		2,188,070
保険料		287,000
賃借料(家賃を含む)		2,433,312
通信費		1,196,599
備品購入費		16,556
消耗品費		967,972
水道光熱費		357,658
委託費		409,641
その他の経費		602,292
経常費用計	23,242,124	
当期正味財産増減額		-1,202,770
前期繰越正味財産額		6,885,615
次期繰越正味財産額		5,682,845

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

# 財務諸表の注記

(議案2-4)の①

## 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NP0法人会計基準(2010年7月20日 NP0法人会計基準協議会)によっています。

### (1) 固定資産の減価償却の方法

定率法によっています。

### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

## 2. 事業別経常費用の内訳

(単位：円)

	シ-ズ'ネット 合 計	管理部門	事業部門計	①生活支援	②このはな	③支部	④森林
経常費用	23,242,124	8,459,100	14,783,024	1,524,881	756,220	1,134,379	111,137
人件費	6,790,511	0	6,790,511	616,687	0	0	0
給料手当	6,080,150	0	6,080,150	596,196	0	0	0
法定福利費	710,361	0	710,361	20,491	0	0	0
その他経費	16,451,613	8,459,100	7,992,513	908,194	756,220	1,134,379	111,137
会場費	271,778	73,200	198,578	0	22,500	16,140	0
会議費	155,342	2,000	153,342	0	0	16,162	0
厚生費	899,426	448	898,978	130,690	32,449	17,115	0
賃借料	1,702,638	1,355,614	347,024	0	0	0	0
消耗品費	1,492,656	967,972	524,684	39,378	15,194	378,328	7,000
水道光熱費	589,507	357,658	231,849	0	0	84,249	0
旅費交通費	3,062,239	2,188,070	874,169	151,280	303,560	41,224	10,000
手数料	115,622	96,516	19,106	3,402	702	648	0
租税公課	589,900	2,400	587,500	0	0	0	0
諸謝金	1,263,573	35,325	1,228,248	44,548	0	45,000	0
保険料	300,637	287,000	13,637	0	900	1,600	11,137
通信費	1,611,687	1,196,599	415,088	4,375	90,928	40,998	0
諸会費	105,450	19,000	86,450	62,000	6,000	13,450	5,000
新聞図書費	180,475	173,777	6,698	3,898	0	2,800	0
印刷費	145,004	86,400	58,604	0	6,000	32,604	0
支払報酬	661,955	120,987	540,968	201,335	0	0	0
支払家賃	1,736,396	1,077,698	658,698	0	162,240	366,858	0
備品購入費	16,556	16,556	0	0	0	0	0
車両費	83,690	0	83,690	0	0	0	78,000
委託費	790,152	192,138	598,014	267,288	21,600	25,000	0
雑費・償却費	676,930	209,742	467,188	0	94,147	52,203	0

## (議案2-4)の②

	⑤もみじ台	⑥セミナー	⑦サ付住 登録北海道	⑧サ付住 登録札幌	⑨諸 口
経常費用	3,261,032	1,523,543	2,867,183	2,701,373	903,276
人件費	2,039,840	0	2,033,460	2,083,053	17,471
給料手当	2,025,185	0	1,689,336	1,769,433	0
法定福利費	14,655	0	344,124	313,620	17,471
その他経費	1,221,192	1,523,543	833,723	618,320	885,805
会場費	3,700	156,238	0	0	0
会議費	8,890	128,290	0	0	0
厚生費	180,320	0	295,500	242,904	0
賃借料	36,612	46,768	182,400	81,244	0
消耗品費	4,000	3,701	35,611	41,472	0
水道光熱費	0	49,200	49,200	49,200	0
旅費交通費	249,660	118,445	0	0	0
手数料	4,428	0	4,148	3,132	2,646
租税公課	0	0	0	1,000	586,500
諸謝金	577,987	560,713	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0
通信費	450	72,071	136,881	69,385	0
諸会費	0	0	0	0	0
新聞図書費	0	0	0	0	0
印刷費	0	20,000	0	0	0
支払報酬	138,087	27,980	86,783	86,783	0
支払家賃	0	43,200	43,200	43,200	0
備品購入費	0	0	0	0	0
車両費	0	5,690	0	0	0
委託費	16,308	267,818	0	0	0
雑費・償却費	750	23,429	0	0	296,659

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

当法人の正味財産は5,682,845円ですが、そのうち使途が指定されているものはありません。

4. その他

ありません

# 監査報告書

(第3号議案)

平成28年4月25日

特定非営利活動法人 シーズネット

理事長 奥田龍人様

監事 篠塚正徳  印

監事 猿渡照夫  印

私たちは、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、平成27年度(平成27年4月1日から平成28年3月31日)の特定非営利活動法人シーズネットの業務及び財産の状況と事業報告書及び計算書類(財産目録、貸借対照表及び活動計算書)について監査を実施いたしました。

私たちは、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会に出席し必要と認める場合には質問を行った。また、財産の状況に関する監査に当たっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められました。

よって、私たちは、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人シーズネットの平成28年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

## 平成28年度 事業計画書 (案)

### 1. 基本的な方針

私たちNPO法人シーズネット（以下「シーズネット」という。）は、創設者である岩見太市前理事長（代表）が掲げた「安心して豊かなシニア人生を創造すること」を使命として歩んできました。

平成26年度以降、シーズネットの活動の三本柱である「仲間づくり、居場所づくり、役割づくり」にもう一つの柱として「支え合い」を加え、故岩見代表が最後まで説いていた「地域家族の時代」の理念をさらに推し進めるべく、「傾聴ボランティア」、「配食・共食モデル事業」、「認知機能低下予防講習事業（脳活塾）」等の高齢者に向けた生活支援事業に取り組んでまいりました。

少子高齢化が著しく進行し、この現象に伴う社会問題がいろいろな形で顕在化し、高齢者の福祉環境へも大きなしわ寄せが余儀なくされてきております。

私たちは、このような社会的背景の中、「地域家族の時代」を手本として、希薄化して繋がりが無くなっていく社会の現状に対し、地域が家族のような役割を果たす取り組みを継続することを通して、高齢者の心身の健康を増進し、社会参加、社会貢献に寄与する活動を推し進めたいと思います。

### 2. 事業計画

#### (1) 認定NPO法人としての活動への賛同者を増やします

シーズネットの活動は、そのほとんどがボランティアによって支えられており、また収益事業を一切行っていないので、典型的な非営利活動をしているといえます。しかし、その分財政基盤が脆弱であるので、私たちの活動の意義を広く世間に知らせ、賛同者を募り寄附金等をより多く集める体制を作る必要があります。

そのため認定NPO法人としての適切な組織運営や経理処理、ホームページ等における適切な情報公開などを行います。組織運営に関しては、生活支援事業を軌道に乗せ、常勤職員を雇用して運営できるようにします。また、生活支援や地域の孤立防止対策などに取り組む中で、賛同者を増やし寄付金を増やしていけるような運営に当たりたいと思います。

#### (2) 多様な活動の場の提供による「仲間づくり」の推進

会員同士のコミュニケーションの機会を増やす場の提供が大切になっています。引き続き、サークル活動の質的、量的拡大、会員同士が結び付きやすい場の提供

などに努めます。

#### <重点目標>

- ① サークルの数を増やし、会員数900名台を維持します。特に趣味活動を充実させるため講師陣の発掘に努めるとともに、個人レベルの楽しみだけに終わらせるのではなく、その成果や果実を地域や社会での活動に結び付けるよう努めます。
- ② 各支部の活動については、従来通り支援をしていきます。引き続き支部代表者会議を開催し、支部活動の在り方について支部代表者と検討する場を持ちたいと考えております。
- ③ 会員向けの研修や勉強会の場として、また、新規会員獲得の機会として「知恵袋講座」をいっそう充実していきたいと思っております。
- ④ 会員の交流の場としては、従来の「新春交礼会」にこだわらず、より効果的な場及び機会をとらえて開催するとともに、サークル活動の発表の場及び市民への周知・啓蒙の場として「シーズネット祭り」などにも取り組みます。
- ⑤ 会員の1/3以上が、未活動会員と想定されることから、札幌市内で区別に会員意見交換会を開催し、意見聴取する中から、改善に向けた取り組みを、準備が整った区から順次開催します。

#### (3) 地域での「居場所づくり」の展開

地域に住む会員同士が交流できる機会を数多くつくり、孤立しない環境をつくる必要があります。会員が自らサロンを開設・運営する場合の支援体制を整え、積極的に支援します。同時に地域交流サロンにみられる小地域との結びつきにも積極的に取り組みます。市民のサロンづくりにも協力します。

#### <重点目標>

- ① 地域交流サロンこのはなの活動の充実をはかるとともに、シネマサロンなないろの規模拡大と出前開催のほか、地域の各地でサロンができるよう支援します。
- ② 厚別区もみじ台管理センターの運営に協力し、もみじ台地区の住民の地域支え合い事業に協力します。
- ③ 厚別区もみじ台で実施している「なないろテント」の取り組みを、同区内及び他地区へも拡大できるよう支援します。
- ④ 札幌市サロン運営補助事業に協力し、市民のサロン立ち上げの技術的アドバイスをを行います。

#### (4) 社会貢献活動による「役割づくり」の展開

地域貢献活動として自主事業・受託事業を推進していますが、現状の取り組みをより向上させ、改善に取り組むとともにシーズネットの財源を改善するために生活支援事業を中心とした新たな事業展開にも取り組みます。

<重点目標>

- ① 北海道と札幌市から委託されているサービス付き高齢者向け住宅登録事業について、制度スタートから5年を経過し、今年度は更新分の登録が発生することから、作業体制を整備し、堅実な運営を行います。
- ② 自主事業として「北海道孤立防止ネットワークセンター」を運営し、引き続き地域での孤立防止対策に取り組めます。具体的な取り組みとしては、全市の町内会等での懇話会、市民向けセミナーなどを開催します。また、住まいの情報セミナーの開催を引き続き支援します。
- ③ 生活支援を必要とする高齢者へ、介護保険外サービスとしての生活支援を提供できる事業化を目指すとともに、介護保険外サービスを提供する団体を紹介するガイドブックを製作し、必要とする団体・個人に情報提供します。
- ④ 「大通花壇づくり」や「森林づくり事業」などに取り組む会員を募り、市民ボランティア事業に積極的に協力します。
- ⑤ 北海道社会福祉協議会から委託を受けて実施している「北海道中国帰国者支援事業」を引き続き実施しますが、今年度は実施対象エリアを手稲区にも拡大して実施します。
- ⑥ 札幌市社会福祉協議会が指定管理者として運営する、札幌市保養センター駒岡で開催する文化講座を支援します。
- ⑦ 「福祉サービス第三者評価」事業として、「評価機関」認証登録が完了したので、評価事業研修会を開催するとともに、評価対象事業所に働きかけ積極的に事業活動を展開します。
- ⑧ 高齢期の認知機能低下に備えて、認知機能低下予防講座「脳活塾」を開講しましたが、さらに講座の充実と受講者の拡大を図るとともに、認知機能低下予防講師の養成にも着手します。
- ⑨ 高齢者向け住宅や施設などへの傾聴ボランティア「話し合いサポーター」の派遣事業に引き続き取り組みます。
- ⑩ 地域課題解決に向けて、団塊の世代を取り込めるようなソーシャルビジネス分野の進出について、他の団体とのネットワークづくりと連携して実現を目指します。

(5) 他団体とのネットワークづくり

さまざまな事業展開を行い、それを拡大していくためには財源の確保と民間企業も含めた他の関係団体との連携を欠かすことができません。

行政からの委託事業のほかに多様な助成制度に目を向けて、シーズネット活動に適用できるような助成金事業には、できるだけ応募すると同時に、シーズネット独自で事業を行うことはもとより、行政や民間企業、NPO団体などの関係団体と連携してネットワークづくりに積極的に取り組みます。

#### <重点目標>

- ① 各種助成金の活用により、シーズネットの目的に沿った新たな活動を展開できるよう検討します。
- ② シニアの住まいの相談窓口として定着した「あんしん住まいサッポロ」が一般社団法人として独立することに伴い、今後は密接な協力団体と位置づけ、連携して活動します。住まいの情報誌などの発行、売り上げに協力します。
- ③ シニア人生の多様なニーズに対応するため、他のNPO法人や民間企業とも積極的に連携して、課題解決に努めます。
- ④ 鉄西地区町内会、平岸地区町内会など、日ごろからお世話になっている団体との連携・協働に努めます。
- ⑤ 札幌市の「空き家対策事業」に協力し、関係する団体と連携して、安心・安全な地域づくりに努めます。

#### (6) 事務局運営

認定NPO法人として、事務局体制の強化は欠かせません。最大の課題は組織マネジメントです。ボランティアだけでは限界がありますので、生活支援事業等に取り組む中で、常勤社員を雇用できる体制を目指します。

#### <重点目標>

- ① 組織マネジメントにかかわる常勤社員が雇用できる環境づくりに努めます。
- ② 文書管理規則をはじめとする、各種規定の適正運用により認定NPO法人として適切な組織運営のための事務管理体制を強化します。
- ③ 組織運営体制に基づく担当分掌は適正に遂行します。
- ④ 総会議事録、理事会議事録、役員体制等の情報公開を積極的に行います。
- ⑤ 新入会員のオリエンテーションを四半期ごと定例に開催し、NPO活動の理解を深めるとともに、リーダーとして資質の高い会員の掘り起こしを図ります。
- ⑥ シーズネット通信の毎月発行を継続し、会員への送付するほか、公共施設の掲出ラックの活用、広報活動団体への送付、ホームページの活用等を通じてシーズネットの活動を広く周知する活動を継続して行ないます。

# 活動予算書(案)

(第5号議案)

(平成28年04月01日から平成29年03月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 会員会費収入		2,930,000
2. 活動参加収入		2,591,000
3. 寄付金収入		450,000
4. 助成事業収入		100,000
5. 自主受注事業収入		17,057,000
6. 雑収入		2,453,000
経常収益計	25,581,000	
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費	16,244,000	
(1) 人件費		7,788,000
人件費計		7,788,000
(2) その他経費		8,456,000
厚生費		463,000
旅費交通費		991,000
諸謝金		1,823,000
賃借料(家賃を含む)		928,000
通信費		532,000
印刷費		106,000
消耗品費		711,000
水道光熱費		520,000
租税公課		727,000
委託費		835,000
その他の経費		820,000
2. 管理費	8,680,000	
(1) 人件費		0
人件費計		0
(2) その他経費		8,680,000
旅費交通費		2,411,000
保険料		285,000
賃借料(家賃を含む)		2,434,000
通信費		1,197,000
備品購入費		17,000
消耗品費		968,000
水道光熱費		358,000
委託費		314,000
その他の経費		696,000
経常費用計	24,924,000	
当期正味財産増減額		657,000
前期繰越正味財産額		5,682,845
次期繰越正味財産額		6,339,845

(第6号議案)

役員の辞任に伴う後任役員を選任(案)について

理事の辞任に伴う、後任の理事に次の者を選任いたしたく上程いたします。

記

辞任理事 北村 美恵子(北海道NPOサポートセンター 理事)

後任理事 山本 純子(福祉NPO支援ネット北海道 代表理事)